

開講科目名 Course	租税法研究演習 1 年（杉浦先生） / Seminar on Tax Law
時間割コード Course Code	18017
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2021年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 2
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	1
主担当教員 Main Instructor	杉浦 勝美
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	5 1 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor （担当教員所属名 Affiliation）	杉浦 勝美（法学研究科修士課程）
授業の目標	
授業の概要	<p>1 . 授業の概要</p> <p>1 前期</p> <p>（ 1 ） 4 月 …… 論文作成の基礎知識とゼミの進め方</p> <p>（ 2 ） 5 月以降（判例研究の実施）</p> <p>A 研究レポートの作成及び発表を順番に実施 …… 議論が深まるよう事前のレポート提出とそれに対する質問事項の整理を励行、2 回目（レビュー）は関連する論文をいくつか引用し自分の考え方が生成できるよう訓練する。</p> <p>B 夏休み中は論文を読み要約作成と評価を行う。（宿題と自主ゼミ）</p> <p>C 合同ゼミに向けての準備を行う。</p> <p>2 後期</p> <p>（ 1 ） 合同ゼミ等の実施</p> <p>（ 2 ） 1 0 月以降（判例研究の実施）</p> <p>前期の経験を踏まえ「小論文」形式にする。</p> <p>テーマは予定している論文のテーマに近いものにする。</p> <p>（ 3 ） 1 月中に論文テーマ及び仮の作業スケジュールを提出する。</p> <p>判例研究等を通じ、最も興味を持った事項を論文作成のテーマとし具体的な作業を進める。</p> <p>3 . 評価方法</p> <p>ゼミへの出席と参加態度、レポート期限の遵守、内容による。</p>
評価方法	
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	
授業計画	
テキスト	
参考書	<p>入学までに読んでおくべきもの</p> <p>木山泰嗣『税務判例を読もう！』（ぎょうせい・2014年）</p> <p>伊藤義一『税法の読み方 判例の見方〔改定第三版〕』（T K C 出版・2014年）</p> <p>岡村忠生ほか『租税法 第2版』（有斐閣アルマ・2020年）</p>
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	
実務経験のある担当教員による授業	
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	
フィードバックの方法	
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	
使用言語	
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	